

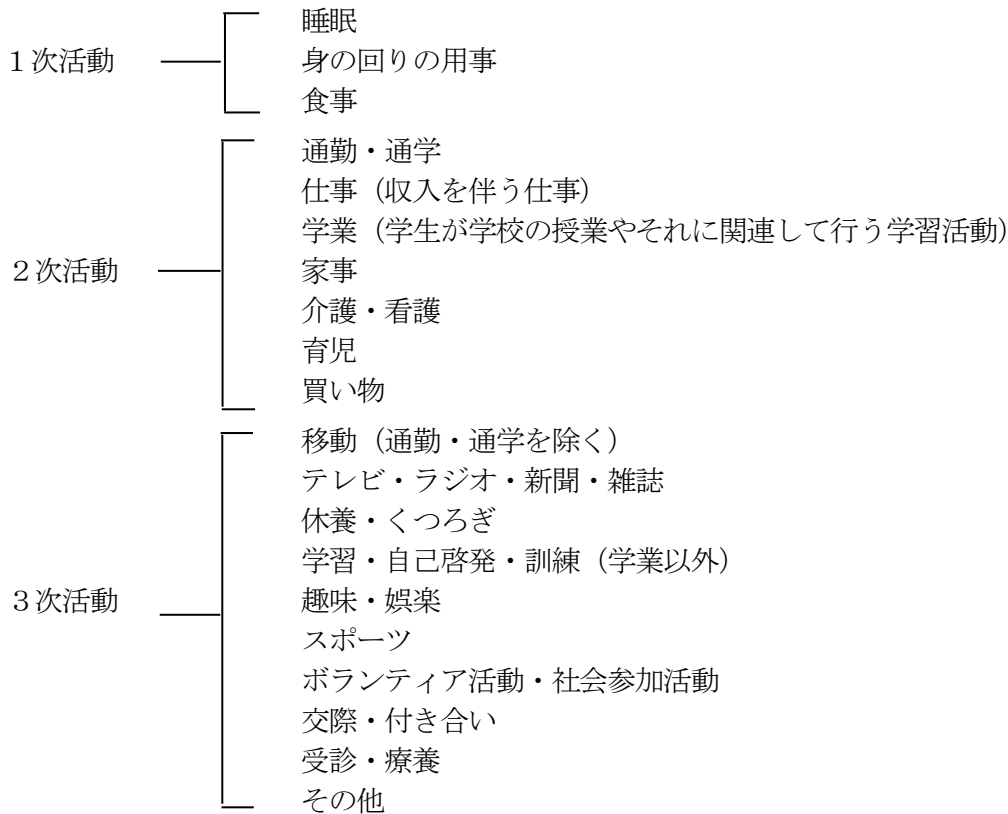
用語の解説

1 生活時間に関する事項

1日の行動を20種類に分類し、時間帯(15分単位)別の行動状況(同時に2種類以上の行動をした場合は、主なもの一つ)を調査しました。

(1) 行動の種類

20種類の行動は大きく3つの活動にまとめ、睡眠、食事など生理的に必要な活動を「1次活動」、仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動を「2次活動」、これら以外で各人が自由に使える時間における活動を「3次活動」としています。



また、必要に応じ次の区分を用いています。

- ・家事関連・・・「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」
- ・仕事等・・・「通勤・通学」、「仕事」及び「学業」
- ・自由時間・・・「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」、「学習・自己啓発・訓練(学業以外)」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」及び「ボランティア活動・社会参加活動」

(2) 平均時間

行動の種類別平均時間は、一人1日当たりの平均行動時間数で、次の種類があります。

- ・総平均・・・該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均
- ・行動者平均・・・該当する種類の行動をした人のみについての平均
- ・曜日別平均・・・調査の曜日ごとに平均値を算出したもので、平日平均(月～金曜日の平均値)、月曜日～日曜日平均があります。
- ・週全体平均・・・次の式により曜日別結果を平均して算出します。

$$\text{週全体平均} = (\text{月曜日平均} + \dots + \text{日曜日平均}) \div 7$$

2 生活行動に関する事項

自由時間における「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」について、過去1年間（平成27年10月20日～平成28年10月19日）の活動状況をそれぞれの種類別に「行ったか否か」、行った場合には、1年間の活動の「頻度」や「目的」、「方法」、「共にした人」などを調査しました。

(1) 過去1年間に行った活動

- 学習・自己啓発・訓練…個人の自由時間の中で行う学習・自己啓発・訓練で、社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業(授業・予習・復習)として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含みます。
- ボランティア活動…報酬を目的としないで自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉のために行っている活動をいいます。
- スポーツ…余暇活動として行うスポーツで、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含みます。
- 趣味・娯楽…仕事、学業、家事などのように義務的に行う活動ではなく、個人の自由時間の中で行うものをいいます。
- 旅行・行楽…旅行は、1泊2日以上にわたって行う全ての旅行をいい、日帰りの旅行を除きます。行楽は、日常生活圏を離れ、半日以上かけて行う日帰りのものをいい、夜行日帰りを含みます。

(2) 行動者数、行動者率、平均行動日数

行動者数…過去1年間に該当する種類の活動を行った人(10歳以上)の数。

行動者率…10歳以上人口に占める行動者数の割合で、次の式により算出します。

$$\text{行動者率} = \text{行動者数} \div \text{各属性の10歳以上人口} \times 100 (\%)$$

平均行動日数…行動者について平均した過去1年間の行動日数で、各行動の総数及びその他を除く種類ごとに、頻度別の行動者数に基づき、次の式により算出されます。

$$\text{平均行動日数} = \frac{\sum (\text{頻度階級の中央値} \times \text{頻度階級の行動者数})}{\sum \text{頻度階級の行動者数}}$$

なお、各頻度階級の中央値は次の値としました。

頻度階級	中央値
年に 1～ 4日	2.5日
年に 5～ 9日	7.0日
年に 10～ 19日 (月に1日)	14.5日
年に 20～ 39日 (月に2～3日)	29.5日
年に 40～ 99日 (週に1日)	69.5日
年に100～199日 (週に2～3日)	149.5日
年に200日以上 (週に4日以上)	282.5日